

背景・目的・対象地域

《背景》

- ① これまで経験したことのない猛暑や豪雨、台風に伴う自然災害などが、全国各地で生じています。2019年10月の台風19号の際に浸水予想区域に立地する羽沢小は風水害時に避難所として開設できないなど、防災上の大きな課題があることを改めて認識しました。
- ② 2019年11月、大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台(以下、国立天文台)より、今後の研究の継続・発展に向けた同敷地北側ゾーンの有効活用についての相談が三鷹市に寄せられました。
- ③ 三鷹の教育では、学校を地域の共有地「コモンズ」と位置づけ、地域の人財や資源が集い、活動できる場としての活用を目指しています。
- ④ 大沢地域では、以前より商業施設が不足しており、買物環境に課題がある状況です。

《目的》

国立天文台周辺地域を対象に、天文台敷地北側ゾーンの土地利用のほか、小学校等の将来的な跡地利用など、国立天文台とともにこれからも歩む長期的なまちの将来像も含めた検討をおこない、「土地利用基本方針」で定めたまちづくりの目標である「天文台の森を次世代につなぐ学校を核とした新たな地域づくり」を実現することを目的としています。

《対象地域》

大沢地域・野崎四丁目

国立天文台周辺地域
(大沢地域・野崎四丁目)

天文台敷地北側ゾーン

国立天文台



天文台の森

大澤八幡神社

〈大沢台小跡地検討ゾーン〉 新たな学びと活動の場

長久寺

〈新たな施設整備エリア+第七中〉
おおさわ commons

国立天文台

天文台通り
星と森と絵本の家

野川

古八幡社

大沢総合
グラウンド

大沢コミュニティ・センター

福祉Labo
どんぐり山

構想1 「おおさわcommons」の創出とエリア全体のまちづくり



天文台敷地北側ゾーンにおける新たな施設整備エリアと七中敷地を地域の共有地「おおさわcommons」と位置付け、森の学校や多世代が集う居心地の良い交流の場、地域の防災拠点を創ります。また、小学校などの跡地利用や周辺の地域資源などを含めたエリア全体のまちづくりに取り組みます。



地域の共有地「おおさわcommons」の創出

【おおさわcommonsの主な機能】

① 天文台の「森の学校」

自然豊かな学習環境の中で、**国立天文台と連携した教育**が受けられる「森の学校」を創ります。

② みんなが集う地域の共有地

移転する西部図書館を中心に新たに設ける交流施設や「学校3部制」の考え方にに基づき学校施設を活用して、**子どもから大人まで多世代が森の中に集う、居心地の良い交流の場**を創ります。

③ 天文台の森(北側)の次世代への継承

計画的な植樹・植栽や適切な維持・保全を行います。

④ 命と暮らしを守る防災拠点

地震・風水害など**あらゆる災害に対応**するとともに、在宅避難者の支援などにも対応した**新たな防災拠点を創ります**。



※ イラストはイメージです。



日常生活の利便性を高める「羽沢小跡地」の検討

- ① 商業施設の誘致により、**買い物不便環境の解消**
- ② 震災時の**一時避難場所の機能継続**
- ③ 野川の景観を生かしたカフェの検討
- ④ **公民連携を活用する整備**の検討



地域の身近な交通手段のさらなる充実

大沢地域以外からも訪れたい魅力あるまちづくり

- ① **AIデマンド交通の拡充**
- ② 将来的な次世代交通手段の検討

乗降ポイント
大沢コミュニティ・センター



AI デマンド交通

ご予約は 0422-34-3055 (月～土 7:30～18:00)
詳細はこちらから 三鷹市都市交通課

構想2 あらゆる災害に備える防災・減災まちづくり



三鷹市防災キャラクターじじよまる

震災時はもとより、地域が抱える風水害等あらゆる災害に対応できるよう、おおさわコモンズは、命と暮らしを守る防災拠点と位置づけ、**新たな三鷹市の避難所・避難場所のモデルとなるよう検討**します。

「公助」の取組のほか、自らの生命は自らが守るという防災の原則である「自助」、地域における助け合いにより、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」により、総合的に防災・減災まちづくりを進めます。

災害対策の基本

自分の命は自分で守ること



おおさわコモンズ全体が防災拠点に

- ① 地域の災害対策活動の拠点
- ② 災害時における施設の機能転換
- ③ 良好な避難生活のための施設の工夫
- ④ 在宅避難者に対する支援拠点
- ⑤ 車両での避難も想定したおおさわコモンズの整備



野川周辺の防災・減災まちづくり

おおさわコモンズで新たな**防災拠点づくり**に取り組むとともに、**野川周辺の防災・減災まちづくり**も並行して取り組みます。

- ① 羽沢小の一時避難場所機能の継続
- ② 浸水被害や土砂災害に備える家づくり・まちづくりの啓発・指導
- ③ 防災意識の周知啓発と実効性のある避難方策の検討



大沢野川調節池 〈令和元年台風19号による状況〉



野川相曽浦橋付近 〈令和3年8月豪雨による状況〉



チャット付った安全安心メール登録していますか？



三鷹市 防災マップ

DISASTER PREVENTION MAP OF MITAKA CITY

三鷹市防災地図 미타카시 방재 지도

(裏面は「三鷹市防災マップ」になっています。)

わが家の防災メモ

災害発生時の避難場所

避難場所	住所	避難場所	住所
三鷹市役所	0422-45-1151(代)	三鷹市立第一小学校	0422-45-1151(代)
三鷹市立第二小学校	0422-45-1151(代)	三鷹市立第三小学校	0422-45-1151(代)
三鷹市立第四小学校	0422-45-1151(代)	三鷹市立第五小学校	0422-45-1151(代)

わが家の防災メモ

災害発生時の避難場所

避難場所	住所	避難場所	住所
三鷹市役所	0422-45-1151(代)	三鷹市立第一小学校	0422-45-1151(代)
三鷹市立第二小学校	0422-45-1151(代)	三鷹市立第三小学校	0422-45-1151(代)
三鷹市立第四小学校	0422-45-1151(代)	三鷹市立第五小学校	0422-45-1151(代)

自宅が安全な在宅避難

災害が起きたら避難所に行くか？それとも自宅に避難する？

自宅に避難する場合は、事前に自宅の安全を確認する必要があります。

大規模な地震発生時の基本的な流れ

地震が来た！まず身の安全

火災の危険・倒壊の危険

一時避難場所

在宅避難

自宅生活支援施設

日常備蓄

日常備蓄のイメージ

日常備蓄とは、普段使っている食料や生活必需品を、災害発生時に備蓄しておくことです。

日常備蓄のイメージ

日常備蓄のイメージ

日常備蓄のイメージ

避難所

避難所の種類

一時避難場所

広域避難場所

避難所

避難所の種類

一時避難場所

広域避難場所

避難所

地震 その時10のポイント

地震時の行動

地震直後の行動

地震後の行動

地震時の行動

地震直後の行動

地震後の行動

避難所一覧

避難所名	住所	避難所名	住所
第一小学校	0422-45-1151(代)	第一小学校	0422-45-1151(代)
第二小学校	0422-45-1151(代)	第二小学校	0422-45-1151(代)
第三小学校	0422-45-1151(代)	第三小学校	0422-45-1151(代)

災害発生時の情報伝達手段として「防災行政無線」

災害発生時の情報伝達手段として「防災行政無線」が利用できます。放送を聞き逃した方や、聞き取れなかった方は、市からの緊急情報を確認することができます。

利用料は無料

放送後すぐに確認

携帯電話からもOK

0120-119-921

災害時医療救護体制

市内で震度6以上の地震が発生したら、診療所を閉鎖、医療救護所と医療拠点に医療を集中します。

大震災が発生したとき、市内の医療機関は、災害時医療救護所と医療拠点に医療を集中します。

災害時医療救護所

医療拠点

知人や友人の安全情報

知人や友人の安全情報

知人や友人の安全情報

知人や友人の安全情報

災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171

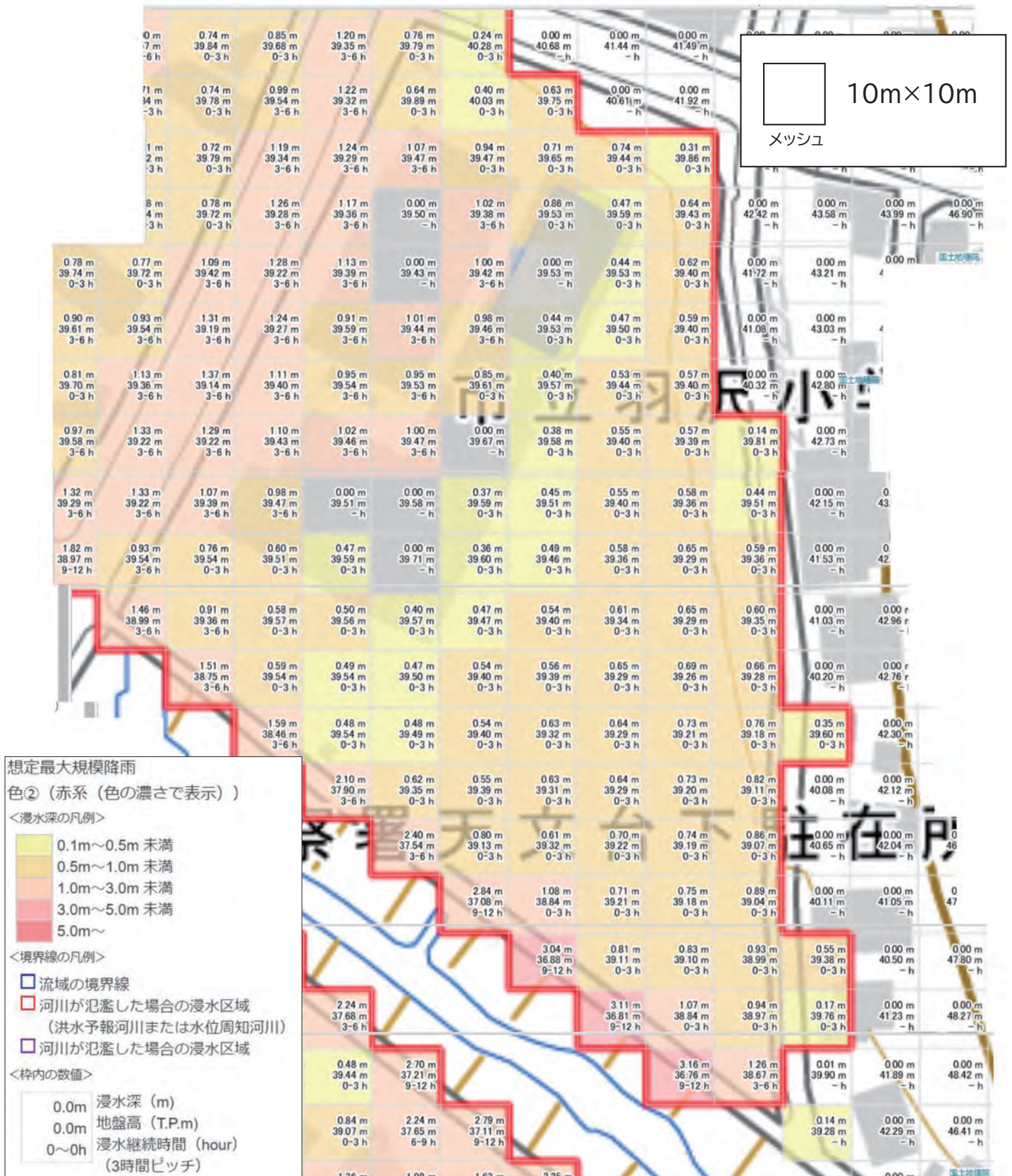
各社の災害用伝言ダイヤル

各社の災害用伝言ダイヤル

各社の災害用伝言ダイヤル

各社の災害用伝言ダイヤル

浸水予想区域図(羽沢小周辺)



◆ご自宅付近などの詳細は、「浸水リスク検索サービス」でご確認を⇒

浸水リスク検索サービスは浸水予想区域図等を基に、豪雨時に予想される浸水深や浸水範囲等の『浸水リスク』に関する情報を、国土地理院等の電子地図上に表示し、地図や住所から簡易に調べることができる東京都建設局によるインターネット上のサービスです。地図上のメッシュサイズは、10m×10m で表示されます。

東京都建設局
「浸水リスク検索サービス」

